

NEWSLETTER

No090519

ナンバーオペレーションには絶対確実なものがあります。
それは OTV がエキスパイア時点で 0.00 になるということです。これには一つの例外もありません。
どの C も P もその中に含まれた OTV はエキスパイア時点で 0.00 になります。

“Sure Money”
(確実な収益)

C 及び P のバリューは ITV と OTV から成り立っています。C または P のバリューから OTV を除くと残りのバリューは ITV です。反対に、C または P のバリューから ITV を除くと残りのバリューは OTV です。

$$\begin{aligned} C \uparrow &= ITV + OTV \\ P \downarrow &= ITV + OTV \end{aligned}$$

ITV と OTV を識別することは大事です。

なぜなら、エキスパイア時点で OTV が 0.00 になり残った ITV が 0.00 より大きい場合は、VIXF へのコンバージョンによって VIXF のハンドを保有することになるからです。(実際には、エキスパイア時点でコンバージョンされた VIXF のハンドは自動的に決済され表面には出てきません。)

ITV も長期的には N に向かい実質的に 0.00 になります。しかしながら、OTV と異なり、一定の期日に 0.00 になるように設計されているわけではありません。そのプロセスの間に増加減少を繰り返します。

ナンバーオペレーションは ITV と OTV の“共演”によって収益をもたらします。両方をうまく管理し利用することが肝要です。そのために時間の概念と関係のある2つのバリューを識別することで

[09]10C-1 @9.50/[09]20P-1 @2.25/[09]25C+1 @0.75
は典型的な ITV/OTV の“共演”です。

[09]20P+1 @2.25/[10]20P-1 @2.75
もまた ITV/OTV の“共演”です。

それぞれのハンドを数式のようにご覧ください。
また、マトリックスとバリューチェーンをご覧ください。

それに続いて上記のハンドについて ITV/OTV に照らして解説します。

ナンバーオペレーションは数学的/物理学概念や数学的思考に基づいています。小学校の算数から高校数学に至るまで(算数と数学に学問的区別があるわけではありません。また、数学の領域の中に、小学生の算数、中学生の数学、高校生の数学、大学の数学という学問的分野があるわけではありません。数学は“数に関する学問”として全てが関連しており体系化されています。)算数/数学・理科が苦手だった方も「数学」や「物理学」といった言葉を聞いただけで引かないでください。小難しいことを述べたいわけではありません。むしろ、逆です。大人の耳に難解に聞こえる内容を小学生にもわかるように説明したいとさえ思っています。一方で、日本語が第一言語である日本人の皆さんには時間が許すなら英語を学習してほしいと考えています。思考法の違いを知ってほしいからです。それはナンバーオペレーションに役立つだけでなく、人生において、たとえ英語を使う機会がなくとも、役立つに違いありません。

C-1, C+1, P-1,
P+1 の4つについて
コンバージョンの仕組み
整理して下さい。